

News

vol.51

Take Free



Special “腎臓” は沈黙の臓器

特集

“腎臓”は沈黙の臓器

Kidney is the organ of the silence



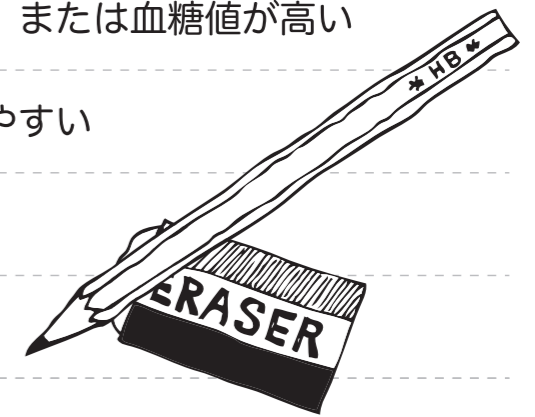
“沈黙の臓器”とは、自覚症状があまりなく、病気が進行してから、あるいは末期的な状態になってから症状が出る臓器を言います。そのため、サイレントキラーなどと呼ばれることもあります。尿を作ったり、血圧を調整したりして体のバランスを整える役割を担っている腎臓は、その”沈黙の臓器”の一つです。

しかし、全く初期症状が無いわけではありません。体のむくみや高血圧は、腎臓が発する病気のサインです。腎臓が発する小さな声に耳を傾けることで、病気の進行を防ぎ、日常生活を制限なく送ることが可能になります。そんな、寡黙な腎臓を「守る」腎臓内科を特集します。

あなたはいくつ当てはまる？

Self Checklist

- 健康診断や検診で尿に異常があるとされたことがある
- 血圧を測定すると高い数値がでる
- 糖尿病と診断されている、または血糖値が高い
- 顔・まぶた・足がむくみやすい
- 尿があわだつ
- 家族に腎臓病患者がいる

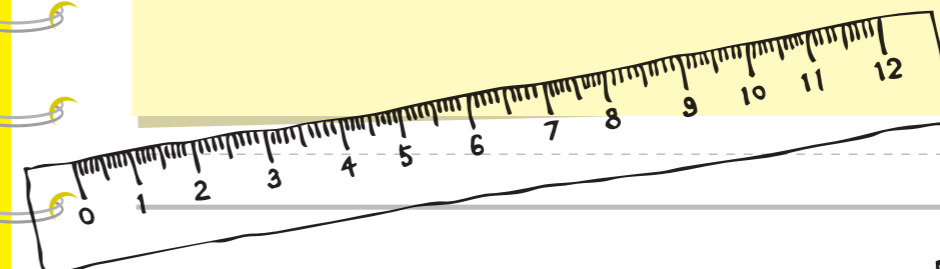


いかがでしたか??

一つでも当てはまったら

「腎臓病」の可能性もあるかもしれません。

一度、かかりつけ医に相談してみませんか？



特集 多くの腎臓を守る

1330万人、みなさんは何の数字がお分かりになりますか？この数字は、日本において腎臓が正常に機能していない成人の数です。日本の成人人口が約1億1000万人ですから実に約8人に1人は腎臓に何らかの問題を抱えている訳です。



桑名東医療センター
安富 医師
血液浄化療法部 部長



安富 眞史（やすとみ まさし）
1977年生まれ、愛知県出身。
2003年三重大学医学部卒業後、同病院、尾鷲総合病院などを経て、
2013年桑名東医療センター内科医長に就任。2015年2月より現職



? 腎臓内科とは

腎臓が悪くなるには原因があります。日本で一番多いものは糖尿病による糖尿病性腎症です。そのほかにもIgA腎症や感染によるものなど数多くあります。腎臓内科では、病気に伴う症状を軽減し、合併症を早期に見つけ治療しています。また、腎臓が悪くなる原因を早期に見つけることで、透析をせずに過ごせることを目指しています。

🗨️ 特色

ある日、初めての患者さんが二人受診されました。1人目は学校検尿で尿蛋白・潜血を指摘された16歳高校生でした。2人目は近くのクリニックで淡白尿を指摘された85歳の方でした。再検査では二人とも、「尿蛋白2+」「潜血3+」腎機能は正常でした。診察の結果、二人とも生活に支障は無いとのことでした。それぞれの希望を伺い、16歳の方には「しっかりと検査をして原因を突き止め治療をしましょう」と話しました。一方、85歳の方には「日常生活に支障が出ないように、経過を見ていきましょう」と話しをしました。検査結果は同じでも、年齢やライフスタイルにあわせて治療方針が異なることがあります。

近年、診療ガイドラインが多く作られています。ガイドラインには「どのような検査結果なら、このような治療をしましょう」と書かれています。腎臓内科では、患者さんそれぞれの希望や事情を理解し、ガイドラインに沿った治療だけではなく、複数の選択肢を提供しています。

🏠 新病院にむけて

腎臓内科が担当している桑員地域の人口は約24万人です。その中で、腎臓に何らかの問題を抱えている人は約2万5千人と推定されています。桑員地域の拠点病院として4名の常勤医師で診療を行っていますが、約2万5千人の診療を行うことはできません。そのため、近隣のクリニックと連携を強化しています。腎臓の状態に合わせ、毎月受診される方、普段は近隣のクリニックですが、半年に一度受診される方もいらっしゃいます。また、クリニックからの紹介で来られる方もいます。

また、6月には市民公開講座で腎臓に関する話をしました。「多くの腎臓を守る」腎臓のスペシャリストとして、新病院開院後も地域と密接に連携した腎臓内科を運営してまいります。

腎臓内科を受診したら 私たちはどんな検査をするの？ ～主な4つの検査～



1. 尿は腎臓の鏡

腎臓は血液を原料に尿をつくり、水分や毒素を排泄しています。尿には腎臓の状態を表すさまざまな物質が溶け込んでいます。一般的な検診で行われる検尿以外に、腎臓内科では尿蛋白の量を正確に測定したり、尿を顕微鏡で観察し腎炎の証拠を見つけたり、特殊なたんぱく質を測定したりしています。ごく稀に尿検査で膀胱がんや血液がんが見つかることもあります。

尿検査を行うことで腎臓病の種類を考えたり、腎臓が今後悪化しないかどうかを予想したりし、治療に生かしています。

3. 百聞は一見にしかず・ 画像検査

発達著しいのが画像検査です。腎臓内科では、超音波検査やCT検査などを行っています。超音波検査では、画像を見ることで正常な腎臓か問題を抱えている腎臓かを判断します。また、超音波検査では判断できない、空気を含んだ組織や骨がある場所の裏側を見るためにCT検査を行います。CT検査は、尿管などの体の深部の診断や、腎結核などの特別な病気の診断にも活躍しています。

2. 検査の王道・血液検査

腎臓疾患にかかわらず一般的なのが血液検査です。腎臓内科ではクレアチンと呼ばれる毒素を測定し、推算糸球体濾過量(eGFR)を計算しています。eGFRの値が60ml/minですと、正常値が100ml/minなので、腎臓が60%しか機能していないということになります。

その他にもカリウム・カルシウムなどの電解質のバランスをチェックしています。腎臓機能が低下すると、貧血になりやすいため血液濃度の確認もしています。

※推算糸球体濾過量・・・腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示している。

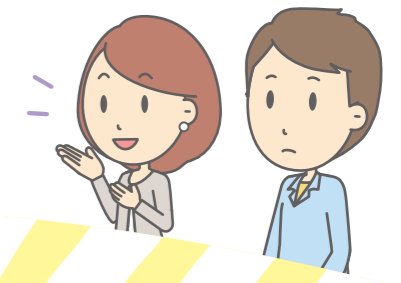
4. 腎臓検査のGold Standard 腎生検

腎生検は、腎臓に針を刺して組織をとり顕微鏡で観察し、病気を調べる検査です。この検査は1週間の入院が必要な負担の大きな検査ですが、腎臓を直接見ることで確定診断や今後の経過を予測することができます。

一般的な検査をして、さらに検査が必要と考えられる患者さんには、生活の状況やご希望を伺い、腎生検の特徴(出血などのトラブルが起こることもある)などをしっかりと説明した上で安全を最優先に実施しています。



主な疾患



とう によびょうせい じん しょう 糖尿病性腎症

透析という言葉をお聞きになったことはありますか？腎臓はないと生きていくことができない臓器です。腎臓がひどく痛んでしまうと、むくみがでたりものが食べられなくなったりします。そのようなとき、低下した腎機能に代わり役割を果たすのが透析です。

昨年、日本で新たに透析を始めた人は、約4万人います。そのうち44%、1万6千人の方が糖尿病性腎症が原因でした。糖尿病になっても糖尿病の治療がうまくいってれば糖尿病性腎症になることはありませんが、糖尿病の管理が不十分ですと糖尿病が発症してから10年から20年で透析となってしまいます。糖尿病性腎症は早期であれば糖尿病の治療をしっかりとすることで改善しますが、ある程度まで進んでしまうといずれ透析となってしまいます。

当院腎臓内科に来られる方の中には、症状が進んでしまった方もいらっしゃいますが、少しでも進行を遅らすことで透析をせず生涯を全うできるように薬をつかったり、注射をしたりして治療しています。

アイジーイーじん しょう IgA 腎症

IgA腎症は腎臓にIgAという免疫のたんぱく質が沈着し腎臓を壊していく病気です。腎臓病には腎臓に直接病気が起こる原発性腎炎と糖尿病などの他の疾患が腎臓の病気を起こす二次性腎炎があります。IgA腎症は原発性腎炎のなかで最も多く、成人では30%とも報告されています。また10代から30代の方に多いことが分かっています。

IgA腎症は20年の経過で透析が必要になる確率が約40%あり、大変怖い病気です。しかし最近の研究では早期に診断をして治療をすれば腎臓の悪化をかなりの確率で回避できます。IgA腎症が進行して腎機能が低下してきた場合には高血圧やむくみの症状がでますが、早期では症状はでないことがほとんどです。そのため学校検診や職場検診で検尿異常をきっかけに見つけることが多くなっています。

当院腎臓内科では、将来の腎機能をまもるためIgA腎症を疑うときには積極的に腎生検を行い、しっかりと診断をし、進み具合に応じた治療を行うことを心掛けています。

た はつ せい のう ほう じん 多発性嚢胞腎

多発性嚢胞腎は腎臓に嚢胞といわれる水のたまった袋が無数にできる病気です。腎嚢胞には単純性腎嚢胞と多発性嚢胞腎があります。腎嚢胞の多くの患者さんは単純性腎嚢胞ですが、まれに多発性嚢胞腎の方がいらっしゃいます。

多発性嚢胞腎は遺伝する病気です。両親の片方が多発性嚢胞腎ですと子供は半分の確立で多発性嚢胞腎となります。この病気は遺伝する病気の中では比較的多く日本では4000人に一人とされています。嚢胞は腎臓だけでなく肝臓・脾臓にもできます。多発性嚢胞腎は60歳までに半数の方で透析が必要となります。

いままでは、多発性嚢胞腎に対する治療がありませんでしたが、2014年3月より新しいトルバプタンという薬が開発されました。これを使用することによって腎臓が悪くなるスピードを遅くすることが可能となりそうすることで、導入を遅らせることもできるようになりました。当院腎臓内科でも積極的にトルバプタンを使用し多発性嚢胞腎治療を行っています。

腎臓病と

上手に付き合おう

もしも、腎臓病になった場合、
私たちにできることや、見直せることがないか、
また、当センターではどのようなサポートをしているのかを
専門スタッフに聞いてみました。



理学療法士
丸山さん

管理栄養士
池田さん

看護師
加藤さん

薬剤師
佐宗さん



「薬のこと」

腎臓の働きが低下している時は、食事だけでなく、薬にも注意をしなければいけません。薬の中には、腎臓の状態によって効果が強すぎたり、弱すぎたりしてしまう薬があるからです。また、病院で処方された薬だけでなく、市販の薬も同じように注意が必要です。

当院では、患者さんのお薬相談を受け付けています。不安に思われることなどありましたら、気軽に薬剤師へご相談ください。

薬剤師より



「運動のこと」

腎臓の機能が低下した方の体内にたまった老廃物を排泄するのが人工透析です。透析を受けている方は、通院による時間的制約や透析後の疲労で体力・筋力が低下してしまうことがあります。

当院では、透析中に運動療法を実施しています。また、透析（穿刺）前から筋力を鍛える運動・バランス訓練をし、患者さん一人ひとりの身体機能や生活の質が向上するようサポートしています。

理学療法士より



「食事のこと」

ここ最近、糖尿病合併症のひとつである糖尿病腎症の栄養指導が増えていきます。糖尿病腎症は、病気の進み方によって食事療法が異なります。たとえば、糖尿病腎症の後期の場合、極端なエネルギー制限や、市販の弁当や総菜に頼って塩分を取りすぎると、腎機能が急激に低下してしまいます。

当院では、患者さん一人ひとりの症状やライフスタイルに合わせた簡単で美味しい減塩生活を提案しています。

管理栄養士より



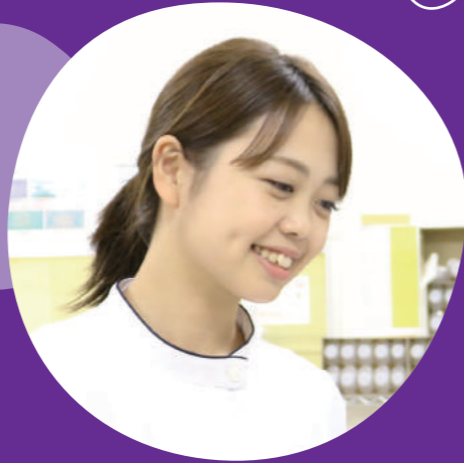
「生活のこと」

腎臓の働きが悪くなると人工透析が必要になります。長期に安定した透析生活を送るには、自己管理がとても大切です。そこで、透析室の看護師は、患者さんやご家族一人ひとりの生活に合わせたプランを立て、セルフケアをサポートしています。

この他にも、私たち看護師が糖尿病基礎疾患のある透析中の患者さんへフットケアをしたり、日常の出来事や悩みを聞いたりしながら、体も心もリラックスして頂けるよう心がけています。

看護師より





チーム医療を支える

With you 医療人

診療放射線技師のお仕事



放射線機器を安全に管理し、検査や治療に活かしたい

皆さんは、診療放射線技師の仕事がいくつあるかご存知ですか？診療放射線技師の仕事は、大きく画像診断と放射線治療に分かれます。画像診断には、X線を使用する検査と使用しない検査があります。X線を使用する検査には、肺炎や骨折などを調べるレントゲン検査、バリウムを飲んで胃がんなどを調べる消化管造影、体や内臓の断面像や三次元立体像を作成して全身の病気の診断を行うCT検査などがあります。X線を使用しない検査には、MRI検査や超音波検査、さらにSPECTなどの核医学検査があります。診療放射線技師は、医師の指示のもと、これらの検査や放射線治療を安全かつ正確に行い、さらにそれらの機器の管理も行っています。

今回の医療人は、画像診断検査や放射線治療を安全かつ正確に行うスペシャリストをご紹介します。



その1 / 画像撮影

医師は患者さんを診察して、レントゲンやCT検査などが必要と判断すると、診療放射線技師に撮影を依頼します。撮影された画像の中には、あまりにも多くの情報が含まれているため、その中から必要な情報を抽出し、医師が診断しやすい画像を作成することも、診療放射線技師の大切な仕事です。さらに放射線機器を厳重に管理し、常に整備していつでも安全に利用できるようにしておくことも重要な業務の一つです。

放射線検査を受ける前の患者さんは、強い不安を抱いておられます。診療放射線技師が、患者さんと接するのは撮影する際の短い時間ですが、患者さんの不安を取り除き、リラックスして検査を受けていただけるよう、常に笑顔を忘れず、質問しやすい雰囲気作りを心がけています。



放射線治療装置に関する打ち合わせ



放射線治療装置設置に関する現地での打ち合わせ

その2 / 放射線治療

現在のがん治療には、手術や抗がん剤治療、免疫療法と並んで、放射線治療を欠かすことはできません。例えば乳がんの手術では、手術後に放射線を照射することも多くあります。放射線治療装置が無ければ照射ができず、手術を受けることができません。新病院では、桑員地域で初めて本格的な放射線治療装置が導入されます。これにより桑員地域におけるがん治療のレベルは急速に上昇するものと期待されます。

放射線治療を安全に行い、その治療効果を最大限発揮するために、照射範囲の正確な設定と誤差の無い線量を照射することが要求されます。そのために現在、放射線治療の研修に積極的に参加し、機器の操作方法などを習熟するよう努めています。

ゆめ子がお届けします！開院まであと少し、新病院情報

桑名東・西・南の医療センターの医療機能をすべて集約させ、新しい病院「桑名市総合医療センター」として平成30年春に生まれ変わります。

こんにちは。桑名市総合医療センターの広報を担当しているゆめ子です。いつもは病院ホームページの広報ブログで病院の情報をお伝えしていますが、今回紙面に登場することになりました。

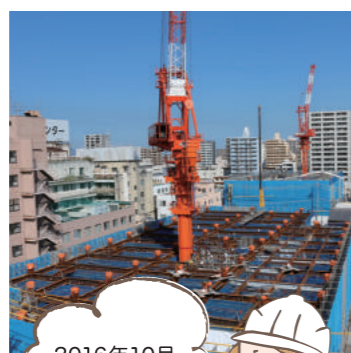


これまでの建設現場のあゆみ



2015年10月

いよいよ建設開始！



2016年10月

タワークレーン登場！



2017年10月

足場が外され外観がお目見え！

新病院の概要 フロア・イメージ

10F	機械室 / 非常用発電		
8F	病室		
9F			
7F	病室		病室
6F	NICU / GCU / 病室		病室
5F	手術室 / 中央材料室 / 集中治療室 / 救急病床	機械室	スタッフエリア
4F	薬剤 / 中央検査室 / 給食室 / SPD (院内物流センター)	各診療科	透析室
3F	救急 / 放射線 / アンギオ	各診療科	健診センター・リハビリ
2F	核医学検査室 / 駐車場	駐車場	医局
1F	放射線治療室 / 駐車場	駐車場	化学療法室
	▲ 入院棟(新築)	▲ 外来棟(新築)	▲ 西棟(改修予定) ▲ 管理棟(改修予定)

病床数
400床

脳卒中の急性期治療

桑名市総合医療センター 脳卒中センター長
桑名西医療センター 脳神経外科部長 阪井田 博司



脳卒中とは突然発症する脳血管障害の総称です。クモ膜下出血・脳出血などの出血性脳血管障害と、血管が閉塞して脳梗塞になる虚血性脳血管障害に大別されます。急性期に迅速に治療を施さなければ、亡くなったり重篤な後遺症を残す怖い病気です。病状に応じて、保存的治療・開頭術などの直達術・カテーテルを用いた血管内治療を適切に選択する必要があります。

クモ膜下出血

脳の太い血管が風船のように膨れあがった“脳動脈瘤”が破裂する死亡率の高い病気です。脳動脈瘤の再破裂予防の処置が最優先で、開頭クリッピング術と血管内治療(脳動脈瘤コイル塞栓術)の二種類が標準的治療です。世界的な研究の結果、最近ではコイル塞栓術が多くなってきました。

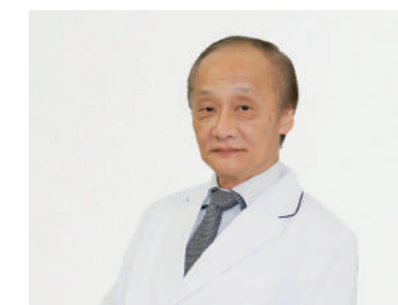
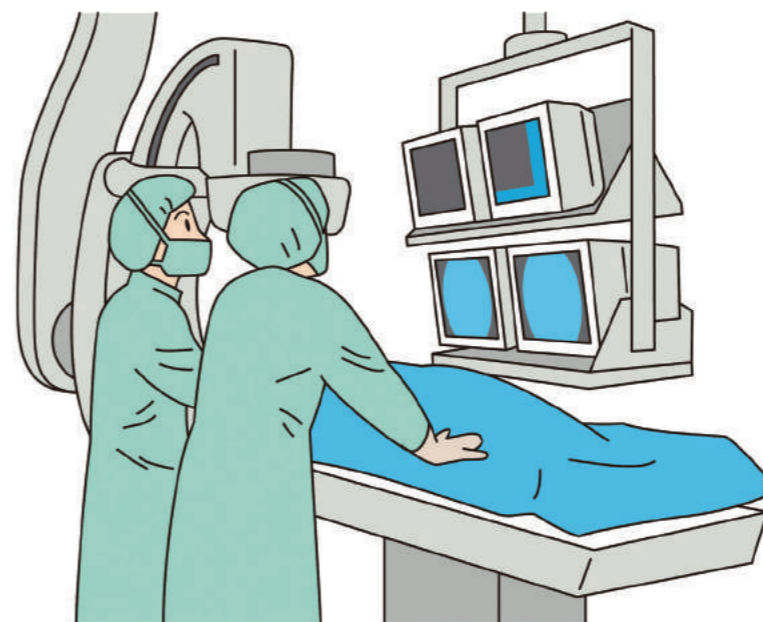
脳出血

脳深部の細い血管が破綻して脳内に出血する高血圧の方に多い病気です。出血の場所や程度によって、血圧管理を中心とした保存的治療や、救命のため手術を要する場合などがあります。最近では大きく開頭せずに内視鏡を用いた血腫除去術も応用されるようになってきました。

脳梗塞

脳の血管が動脈硬化によって詰まるアテローム血栓性梗塞と、不整脈のある心臓に血栓ができて脳に飛んでくる心原性塞栓症が代表的です。脳の血管が詰まってから4.5時間以内にrt-PA静注療法を施行すれば、全ての患者さんではありませんが、麻痺が回復したり後遺症を軽くすることができます。時間に間に合わなかったなどの理由で、脳梗塞の約5%の患者さんしか治療が受けられていません。最近では血管内治療(機械的血栓除去術)が普及し、最新の研究結果から、適応患者さんにrt-PA静注療法や機械的血栓除去術を“しなければいけない時代”に入っています。

桑名市総合医療センターのオープンに合わせ「脳卒中センター」を開設します。多職種による専門スタッフと先端機器を配置し、関連診療科や救急隊との連携を強化していく予定です。これにより桑名・北勢地域の脳卒中医療が一気に集約化されます。“脳卒中オール・イン・ワン”を合言葉に、脳卒中やその疑いのある全ての患者さんが、迷うことなく急性期医療から高度先進医療までを受けられる施設を目指して日々準備を進めています。



阪井田 博司(さかいだ ひろし)
岐阜県出身。
1987年三重大学医学部卒業
静岡県立総合病院・伊勢赤十字病院・桑名市民病院(現桑名西医療センター)・国立循環器病研究センターなどを経て、2001年4月～2017年8月三重大学医学部附属病院にて勤務。2005年9月先進的脳血管内治療学講座准教授。2012年9月同講座教授に就任。2017年9月より現職。

医療人募集

新病院で一緒に働きませんか？

桑名市総合医療センターでは、一緒に働く仲間を募集しています。詳しい内容は桑名市総合医療センターのホームページの採用案内をご覧ください。

<http://www.kuwanacmc.or.jp>



チームひとつになって命をつなぎたい /

心臓血管外科・呼吸器外科の火曜日診療をスタート！



「桑名で心臓の手術を受けたい」…という桑名市民の皆さんに強い希望があると聞き、8月から赴任致しました。前任地である三重県立総合医療センターへも、桑名からたくさんの患者さんが来院されていました。

来年の新病院開院に合わせて心臓の手術を始められるよう、鋭意準備をしております。心臓手術はチームで行います。医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、理学療法士等が一つになって患者さんの命

を繋ぎます。虚血性心疾患、弁膜症、大動脈瘤をはじめ、大動脈解離などの緊急手術にも全て対応するべく、また一日でも早く、24時間365日いつでも手術ができる体制を整え、この桑名の地により良い医療を提供できるよう取り組んでいきます。

診察日・時間	火曜日・午前中 (受付は12:00まで)
担当医	矢田真希 医師 (心臓血管外科)
お問合せ	桑名東医療センター 0594-22-1211 (代表)

桑名西医療センター跡地活用 /

桑名西医療センター跡地の
売買契約に向けた基本協定書調印式

桑名西医療センター跡地の売却に係る事業者公募プロポーザルが行われ、最優秀提案者と桑名西医療センター跡地の売買契約締結に向けた基本協定書調印式が、平成29年8月21日に桑名市役所で行われました。

最優秀提案者

- 代表法人 株式会社メディカルー光
- 構成員 日本土建株式会社

- 提案内容：有料老人ホーム、医療モール、介護ショップ併設調剤薬局、便益施設、特別養護老人ホーム等



市民公開講座のお知らせ /

桑名市総合医療センター新病院開院直前
～桑名の医療を考える講演会～

桑名市総合医療センターでは、桑名市民の皆様を対象とした市民公開講座を開催致します。

テーマは、平成30年開院の新病院についてです。

皆様ぜひご参加ください。

- 日 時 平成30年1月27日(土)
13:00～
- 場 所 NTNシティホール(市民会館)
小ホール
- 定 員 300名



平成25年医療シンポジウムの様子

教室のご案内

受診の有無にかかわらず、どなたもご参加いただけます。

妊婦さん・産後ママのための教室[予約制]		場所：桑名東医療センター		Tel: 0594-22-3709	
内容	開催日	時間	参加費	対象	
マタニティ・ヨガ	第2・4木曜日	13:30～15:30	700円	妊娠15週以降の正常な妊娠経過の方(医師の許可が必要です)	
マタニティ・フィットネス	金曜日	11:00～12:00	700円		
ママ・ヨガ	火曜日	11:00～12:00	700円	産後6週から2歳位まで	

糖尿病教室[予約制]		場所：桑名西医療センター		Tel: 0594-22-7111	
内容	開催日	時間	参加費	対象	
お正月を太らず乗り切ろう！ お正月の料理の工夫	12月21日(木)	11:00～12:30	800円	食事あり	

肝臓病教室[予約制]		場所：桑名西医療センター		Tel: 0594-22-7111	
内容	開催日	時間	参加費	対象	
B型肝炎について	1月12日(金)	13:00～14:00	100円	参考資料代として	

教室レポート

糖尿病教室に
密着！

糖尿病教室レポート

不安や疑問を
解決できる場所！
座談会に参加しました。

桑名西医療センターで開催される各教室では、参加した皆さんが楽しく自宅で取り組めるように、わかりやすく病気について学べるような工夫をしています。
今回は、7月27日におこなった、糖尿病教室の座談会をレポートします。

座談会では、参加した皆さんのさまざまな質問に、食事のことは管理栄養士や看護師、検査結果の見方は臨床検査技師や看護師、薬の飲み

方は薬剤師といった各職種の専門家がおこたえします。

参加した方から、「同じ悩みを抱えている方がいるので、お互い励ましあうことができ、明日からまた頑張ろうという気持ちになりました。」
「教室に参加することで、気が引き締まりました。」「継続することの大切さを再確認することができる場所です。」などのご意見を伺うことが出来ました。



皆さんも一度、興味のある
テーマに参加してみませんか？

<レポート 広報担当>



GO! GO!

建設現場 レポート

vol.9

このコーナーでは新病院の建設に関する最新情報をお知らせします。



点検作業が進められています!

受電契約が完了し、外来棟では、電気設備の点検作業が進められています。新病院では、複数系統から電気を受けるので、もしも一つの変電所でないかが起こっても、別の変電所から電気が受けられるようになっていきます。また、屋上には3日間自家発電をすることができる発電機が設置されており、万全の体制が整えられています。

また、入院棟は足場の解体が終わり、外観が現れました。



足場が解体された入院棟

建設現場の

ナニコレ?!

これはなんだと思いますか?



答えは、「絶縁抵抗計」です。

電気設備点検で、受電設備に送り入れた回線や各フロアのブレーカーに絶縁抵抗計をつなげて、電気が漏れていないか一つひとつ点検しています。とても地道な作業ですが、電気が各フロアに行き届いているかを確認することも重要な作業です。



なんでも Q & A



ボランティアさんはどのような活動をされているのですか？
また、今後も募集されるのですか？



桑名東医療センターではボランティアさんに、院内のご案内、ご家族が来られるまでの患者さんの見守り、車椅子の介助、受付のお手伝いなどをお願いしています。来年の新病院開院後には、ボランティアさんの活動範囲を広げ、通訳、院内イベントでの演奏・合唱などにもご参加頂ける方を募集したいと考えています。また「患者さんのためにこんなことができる」「こんなことがしたい」という方はぜひ一度お問合せください。



桑名市総合医療センターは地域の方々に愛される病院を目指しています。私たちと一緒に新しくなった桑名市総合医療センターを支えて下さるボランティアさんをお待ちしています。

お問合せ先 (0594)-22-1211
桑名東医療センター管理部総務課

